

2017年9月30日(土) 14:00~16:00

千葉商科大学丸の内サテライトキャンパス Tel.03-3216-5220

東京都千代田区丸の内3 1 1 国際ビル1F(お堀側)



CUC 公開講座 第3回 米国資本主義の限界とCSR

第3回目のCUC公開講座では、「米国資本主義の限界とCSR(企業の社会的責任)」と題して、学長プロジェクト2「CSR研究と普及啓発」から、米国資本主義の限界とその解決方向としてのCSRについて考えます。

発題講演では、米国型資本主義は、物的繁栄をもたらした一方、環境破壊、資源枯渇、労働環境の悪化、法令違反、所得格差の拡大、中産階級の没落などを引き起こし、破綻したことの分析から議論を始めます。今後の企業経営は、経済とモラルのバランス回復、企業の公共財化、ステークホルダー経営などが必要であり、CSRが強く求められているとの認識から、新たなビジョンとして「きずな資本主義」を提案します。

討論1「プロジェクト融資におけるCSR:環境社会配慮の観点から、EPを具体事例に」では、環境社会リスクを評価する金融機関の自主的なガイドラインであるEP(赤道/エクエーター原則)を、国内銀行の4行目として昨年2月に採択した三井住友信託銀行が、その経験から、同原則の概要や採択に到った経緯や、実際の事例について説明します。そして、討論2「持続可能な経済システムと環境社会配慮」では、新たな「持続可能な経済システム」について、「循環」「共有と脱所有」「分散ネットワーク」「SDGs」等をキーワードに、サーキュラーエコノミー、シェアリングエコノミーなど最近の理論動向を、「循環」「共有と脱所有」「分散ネットワーク」「SDGs」等をキーワードに、企業事例を紹介しつつ展望します。

ぜひご参加ください。

講座の進行

1. 発題講演「米国資本主義の限界とCSR」
三橋 規宏 千葉商科大学名誉教授(環境経済学)
2. 討論1「プロジェクト融資におけるCSR:環境社会配慮の観点からEPを具体事例に」
吉川 勝則氏 三井住友信託銀行株式会社 ストラクチャードファイナンス部
3. 討論2「持続可能な経済システムと環境社会配慮」
伊藤 宏一 千葉商科大学教授(社会金融・金融政策)
4. 全体討論
[司 会] 太田 三郎 千葉商科大学商経学部長
[パネリスト] 原科 幸彦 千葉商科大学学長、三橋名誉教授、吉川氏、伊藤教授

[事務局] 千葉商科大学 学長プロジェクト事務局 〒272-8512 千葉県市川市国府台1-3-1

E-Mail: p_pjt_admin@cuc.ac.jp

[CUC公開講座Web] http://www.cuc.ac.jp/special_news/project_news/i8qio000002p5qg.html